

八千代市子ども・子育て支援事業計画に対する意見への回答書

資料30-1-1

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
1	1-2(1)③	子どもと地域住民の参画の推進	登録団体の活動状況は？	平成29年度はフレッシュタウン子ども会が八千代市大和田新田のさつき公園とその周辺の歩道の清掃と除草を述べ3日間実施しました。	公園緑地課
2	1-3(3)①	相談援助体制の充実強化	<p>・児童の親からの虐待から死に至る事例を見てみますと、一度虐待が始まると、矯正されることはないということです。ですから、一度でも虐待が発生すると、親と子どもを隔離することが最善策です。</p> <p>・女の子を連れ子に母親が再婚する場合は、母親が細心の注意を払わなければなりません。特に、絶対に父親と女の子を二人にさせてはいけません。私が担任していた女の子を持つシングルマザーが再婚することになった時、母親を学校に呼んで、このことをしっかりと申し上げました。</p> <p>・子どもの前で、父親が母親に暴力をふるうと、子どもは、異常性欲で自分がコントロールできなくなることがあります。子ども自身も殴られると、異常な快感を覚えるものです。虐待からの二次被害も担当者はしっかりと把握しなければなりません。</p> <p>・私が児童相談所に40年前からかかわっていましたが、そのころから、申し上げていましたが、児童相談所の職員の甘さにイライラしていました。職場の中で、臨時採用の学級担任、幼稚園教諭から集団の人間関係を把握していくことが大切なことです。</p> <p>・親の面接は、両親指導をメインとして、片方だけを面接することは、絶対に避けることです。</p>	<p>児童虐待が生じる場合、親子関係のみでなく、夫婦関係・経済状況・養育者の心身の状態・子どもの特性など様々な背景がある場合が多く、支援にあたっては、家族全体を視野に、多くの地域の機関と連携し対応することが重要と考えています。</p> <p>市では、「要保護児童対策地域協議会」を設置し、子どもに関する情報や考え方を共有し、家庭や地域での安心した暮らしを目指し、支援計画を立て支援しております。</p> <p>なお、養育者の面談の際、両親のいる家庭であれば、父母双方への支援を心がけ対応しております。</p> <p>ご意見を今後の参考とさせていただきます。</p>	子ども相談センター
3	1-4(1)⑤	学習支援事業の検討	親が働いているため、公民館・自治会館・学童保育所などでボランティアをお願いして、1日2時間くらい勉強・宿題をみてる所があったらと思う。	ひとり親家庭に限定せず、生活困窮者自立支援事業として、貧困の連鎖を防止するため、世帯への支援と共に、子どもたちに学習支援の場を提供しています。会場は市役所となっており、市内各所での実施ではありませんが、今後も連携して学習支援を希望するひとり親家庭に情報提供していきます。	子ども福祉課
4	1-4(2)①	児童発達支援センター運営事業の充実	児童の発達支援のためには、集団・幼稚園・保育園の中での様子がとても重要です。特に、発達障害の子ども達は、集団の中での様子が将来のポイントになってきます。人間関係は、センターでの発達障害の子ども達だけのグループ学習では見通しは甘くなります。	児童発達支援センターで療育を受けた後、保育園や幼稚園に進む児童もいます。それらの児童に対しては、センターの職員が保育所等に出向いて支援を行う保育所等訪問支援事業を実施し、集団に適應できるように支援しています。また、保育園との交流保育を実施し、他の集団と関わる経験を機会を設けています。保育園や幼稚園に在籍している発達障害の児童も多いことから、通所している児童への支援だけでなく、保育所等訪問支援、施設支援の充実に努めてまいります。	児童発達支援センター

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
5	1-4(2)②	就学相談の実施	就学相談は、臨床的、総合的に見通しを立てることが大切です。児童発達支援センター、教育センター、特別支援学校で、児童生徒を適確に把握している先生を教育センターに配置して事に当たることがベストです。本来ならば、就学指導は、学務課が担当することが妥当ですが、雰囲気の良い面接場所が必要ですから、教育センターが諮問することで設置し、教育措置は、学務課と組織変更した方がよいと思います。就学相談に関して、医師との連携も重要なことですが、ここに記載されていないということは、教育と医学との連携がうまくとれていると判断してよろしいのですね。	現在、就学相談は指導課で担当しています。今後、組織で相談が行えるよう引き続き要望していきます。 就学相談に限らず、日頃より、学校と医療機関で連携を図っています。	指導課
				児童発達支援センターにおける就学相談については、通所している年長児の保護者に対して、教育委員会指導課と連携を図りながら、児童発達支援センターを主な面接場所として、ケースワーカーやクラス担任が個別に相談に応じています。進路相談にあたっては、必要に応じて、嘱託医の意見を仰いでいます。	児童発達支援センター
6	1-4(2)⑦	保護者同士の交流や学習の支援	「療育を理解したり情報交換することで子育て家庭への充実を図る」とあるが、具体的にどの様な事をしたのか？知的障害、身体障害、最も多数であると思われる発達障害等、障害によっていろいろな問題や親の悩みがあると思うので、それぞれに細やかな対応が必要と思われます。親同士の情報交換の場やネットワークを作ったり、市としてそれぞれの家庭を支援出来ているのでしょうか？	児童発達支援センターに通所している保護者に対し、療育内容の説明、外部講師による講演会、学校見学会等就学に関する案内・相談、クラス親子通園での保護者懇談会、卒園児や手をつなぐ親の会等先輩保護者との交流会などを実施し、障害への理解を深め、保護者同士が情報交換できるよう努めています。また、個々の特性に起因する様々な問題や悩みについては、その都度個別に相談に応じ、専門職種が連携を図りながら支援を行っています。	児童発達支援センター
7	1-4(4)①	不登校・ひきこもり児童への支援	事業総括によると成果がでている様子であるが、担当課評価がBとなっている。残されている今後の課題はどのような点か？	学校との連絡を密にして、個に応じた学校復帰の計画を立てていく必要がある。	適応支援センター
8	1-4(4)①	不登校・ひきこもり児童への支援	・子どもが後ろを振り向くことは禁句です。「きょうは、雨が降るようだからかさ持ってきたか」ようやく学校までたどりついたのにかさを忘れたと家に戻り二度と学校にきませんでした。ちょっとしたことに過敏に反応するのが、不登校・ひきこもりの子どもたちです。学校に来たことを先生が大歓迎することが第一です。余計なことをいわなくてよいのです。なにがとも自然に接することが大切なことですが、こうした人間関係に大切な基本的なことを指導助言の中に組み込まれていますか。	不登校の児童生徒が通う本所では、こどもが通所してきたことを褒め、温かく迎えています。指導助言の中で、人間関係に大切な基本的なことを組み込み、自然に接する中で学ぶことができるよう心がけています。	適応支援センター
9	2-1(1)①	保育園等の適切な配置	中長期的な見直しにもよるが、現行の課題解決には小規模保育の設置が適しているのではないかと。市としてのご見解をご教示ください。	待機児童は1・2歳に集中しており、今後は重点的に0～2歳児を確保することが課題ですが、卒園後の3歳児以降の受皿の問題もあるため、慎重に検討していきたいと考えております。	子育て支援課
10	2-1(1)①	保育園等の適切な配置	適切な配置・保育の質の向上とも関係性の強い「保育士等の人材確保」についても、十分な検討が必要と考えます。「保育士資格」保持者の業務は保育園での勤務だけでなく、子育て支援、療育支援、保護者支援等の多岐に渡ることを十分に鑑みる必要性を感じます。	「保育士等の人材確保」については、平成29年10月から民間保育園等で勤務する常勤保育士の月額給与を30,000円改善する「八千代市保育士処遇改善事業」を実施しています。今後も近隣市の状況等を参考に保育士等の人材確保に努めてまいります。「保育士資格」保持者は、保育園以外の地域子育て支援センター等にも在籍していますが、人員配置については関連部署との調整が必要となるため、ご意見を参考に考えてまいります。	子ども保育課
11	2-1(3)①	保育ガイドラインの活用	保育士の質向上、定着に向けて市として取り組める具体的なメニューがあればご教示ください。	新規採用の保育士を対象とした新人研修において「八千代市新ガイドライン」を活用し、保育における共通理解を図っていきます。また、各保育園の園内研修等において保育の課題や専門的な知識の共有等について意見交換をするなどにより、保育園全体の保育の質が向上していけるよう取り組んでいきたいと考えます。	子ども保育課 (保育園)

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
12	2-2(2)⑤	病児保育の充実	今年度より登録方法が変わったことで、利用しやすくなるという思いがあります。ただ、申請用紙がうまくダウンロードできないという声がありましたので、その辺の修正をお願いします。	パソコンのバージョンによって、ご指摘のような不具合が生じている可能性があると思われるので、申請用紙について、従来のwordファイルに加え、PDFファイルも掲載します。	子ども保育課
13	2-2(2)⑤	病児保育の充実	一番注意しなければならないこととか、やってはいけないことですが、安易に食べ物を与えないことです。子どもが食べ物をのどにつかえて死に至ることが起こるのです。こうした子どもに食事を与えている専門家に任せることです。このことを保護者にしっかりと確認して共通理解を深めておくことです。	病児保育において、子どもに昼食等を与える機会には保育士や看護師が対応しています。また、その日の子どもの体調や、アレルギー対応が必要かなどについても、事前に保護者と施設従事者が確認したうえで対応しています。	子ども保育課
14	2-3(1)①	幼児教育の推進	ある幼稚園の先生方を見ていますと、常用漢字以外の漢字をかけるのですが、小学校の教科書に出てくる漢字が書けない傾向にびっくりしました。また、ひらがなの書き順が間違っていて、これは、合同研修会で徹底して習得する必要があります。	いただいたご意見を参考に研修等について検討します。	子ども保育課
15	2-3(1)②	幼稚園・保育園等、小学校との連携	幼稚園から指導要領→指導要録の誤りです(各2ヶ所) 保育園から保育要領→保育要録 (※昨年度も同様に書かせていただきましたが、八千代市さんでは違うのですか?)	正しくは、指導要録・保育要録でした。	指導課
16	2-4(1)①	学童保育の拡充	市内のエリアによっては、学童保育の定員が不足している為学童保育に預けられない(特に3年生以上)という声が、聞こえています。定員の見直しなどが必要な地区もあるようですが…	待機児童は、睦、米本地区を除き発生していることから、中長期の児童推計等も踏まえ、定員拡大や新規開設を含めた地区毎の定員見直しを図ってまいります。	子育て支援課
17	2-4(2)①	放課後子ども教室の拡充	公園で放課後、野球やサッカーをする子どもと小さい子どもが遊具で遊び、ヒヤリとする事があります。校庭開放など広い所をもっと子ども達に提供していただけたらと思う。手続きも簡単にして欲しい。	放課後子ども教室では、学校教育で支障がない範囲内で校庭や体育館を借用して、安全管理員の見守りの下、活動しております。なお、放課後の時間帯の校庭開放につきましては、各小学校毎の取り決めによって決定されております。	子育て支援課
18	2-4(3)①	学童保育と放課後子ども教室の連携	学童保育に友達と一緒にできなかったことから、一時行くことを嫌がっていた子が、放課後子ども教室と学童の併用を始めたことで、楽しく学童を利用できるようになった子が居ますので、これからも増えることを期待します。	学童保育所との一体型につきましては、4校中3校にて実施しております。今後、放課後子ども教室を開設する小学校に学童保育所が設置されている場合は、学童保育委託事業者と協議を進め、両事業の児童が共に交流ができる一体型に取り組んでまいります。	子育て支援課
19	2-4(3)②	学童保育等における地域住民等の参画	両親が働いているため、公民館・自治会館・学童保育所などでボランティアをお願いして、1日2時間くらい勉強・宿題をみくれる所があったらと思う。	学童保育所では、登所後に勉強や宿題を実施する体制を取っておりますが、ボランティアにお越しいただいて、勉強を教えていただく体制には至っておりません。今後は学童保育委託事業者と協議を進めボランティアの参画を検討してまいります。なお、放課後子ども教室では東京成徳大学の学生にボランティアとしてお越しいただき、児童に勉強やスポーツ等を教えていただき交流を図っております。	子育て支援課
20	3-1(1)①	母子健康手帳の交付	父子手帳は交付しないのか？八千代市単独で難しければ、千葉市等周辺市と連携の上作成してはどうか？それも難しければ、NPO等に主体的に作成してもらい支援する形もあるのでは？市が+作成にかかわることで、市職員の意識向上にもつながる。	父親向けの子育てに関する情報提供として、平成30年度から「パパトライ」と「パパ新聞」という資料を母子健康手帳交付時に配布しています。「パパトライ」には妊娠・出産による母親の心身の変化、子育てに関する基本的な情報、父親ができることなどが記載されています。「パパ新聞」は実際に子育てをしている父親の声をまとめ、子育て中やこれから子育てをする父親へのアドバイスを掲載しています。父子手帳という名称のものは交付していませんが、夫婦で子育てを行う意識付けの支援の一貫として、これらの情報提供を行っています。	母子保健課

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
21	3-1(1)②	やちよ子育てハンドブックの発行	やちよ子育てハンドブックには、不審者情報などを得るための情報メールに関する記載はなく、情報を得る方法を知らなかった。	やちよ子育てハンドブックの60ページに「防災情報の配信について」として、やちよ情報メールについて掲載しています。今後、当該欄に防犯等についても情報が得られることを掲載したいと考えています。	子ども保育課
22	3-1(1)⑦	全数対象事業(赤ちゃん広場等)の実施	【もうすぐ1歳半おやこ広場】の参加率は43%と少ない。実際に参加した様子時にも参加者人数は【4ヶ月児赤ちゃん広場】などと比べて随分に少ない印象があり、数字として実感している。1歳半児には、保育園利用者も多く、会への参加が必要な対象が実際にはその程度であり、目的は達せられているという状況との理解でよいか。	「もうすぐ1歳半おやこ広場」の参加率は他事業と比較して低いものの、参加者に対し発達確認や子育てのアドバイスをを行い子育て支援における一定の目的は達成しているものと考えます。	子ども保育課 (地域子育て支援センター)
23	4-1(2)①	次代の親となるための育成支援	小学校・中学校・高等学校14校に対して募集した結果としての活動人数が15人という状況は、実際の活動人数としては非常に少なく、一部の保育等に興味のある児童、生徒に限ったものとなっていると思う。「次代の親となるための、、」という目的から考えると、職業としての保育者という捉え方に限らず、親になる可能性があるすべての子どもという点で広く多くの児童、生徒を対象とした事業を進めていく必要があると思う。	「次世代の親となるための育成支援」として、市内小・中学校及び高等学校の児童・生徒に対し、乳幼児やその親と接することにより子育ての喜びや大変さを感じる機会を提供していることから、今後、多くの児童及び生徒を対象に広く周知し、参加者の増加に努めます。	子ども保育課 (地域子育て支援センター)
24	4-2(1)①	シニア世代との交流	年齢制限のある遊びもあつたりと、小学校1・2年が参加できないものもあるので、1年生から参加できるようにして欲しい。	昔遊びなどは全て参加でき、その他の講座も大半が1年生から参加できるので、今後とも積極的に参加してもらいたい。	文化伝承館
				小学校1年生から参加できる遊びを取り入れていく。	指導課(学校)
25	5-1(1)②	男女共同の子育ての推進	パパ同士はママ同士よりつながりにくいいため、プレパパ時代の子育て教室で交流を終わらせることなく、子育て期にかけて継続的に触れあえるような機会づくりが望ましい。パパ同士がつながれば、父子同士での交流にもつながり、最終的にはママも休息を取れることにつながる。	「お父さんと一緒にあそぼうよ」や「遊びと交流の広場」の開催により、父親が参加し、父親同士が子育てについて話せるような機会を増やせるよう努めます。	子ども保育課 (地域子育て支援センター)
				ご意見を今後の事業の参考にさせていただきます。	男女共同参画課
26	5-1(1)②	男女共同の子育ての推進	「お父さんと一緒に遊ぼうよ」はとてもよい企画です。このときの子どもの感想を聞いてみますと、つまらないという声を多く聞かれます。それは、お父さんは私のことをもっともわかっていないからです。父親も子どもとどう接すればよいか戸惑った。これから子どもと普段から遊ばないといけなと反省したという声も多く聞かれます。私は、一歩進んで共に苦しみを体験して共に楽しみを見つける体験がとても大切なことだと思います。それが、親子ウォーキングです。5歳の子どもは、10キロ歩いても足にマメができることはありません。途中で疲れて泣き言をいいますが、励ますと歩歩できます。そして、ゴールして子どもは、走り回っています。父親は、疲れ果てて座り込んでいます。活発に走り回る子どもの姿を見て、びっくりするものです。	「お父さんと一緒にあそぼうよ」において、父親ならではのダイナミックな全身を使ったふれあい遊びなども紹介し、親子一緒に遊びや制作を楽しめるように努めています。また、「お父さんと一緒にあそぼうよ」への参加により、父親が子どもとのスキンシップや遊び方等を知ることができるよう内容について工夫していくことを考えています。	子ども保育課 (地域子育て支援センター)
				ご意見を今後の事業の参考にさせていただきます。	男女共同参画課
27	5-2(1)①	ワーク・ライフ・バランスの意識啓発の促進	習志野市との共催イベントは素晴らしい取り組みだと思います。子育て支援については特に、行政界にかかわらず、今後とも周辺自治体と広域連携し費用負担しあいながら推進するのがベストだと思う。	今後同様のイベントについて、連携及び周知等に努めます。	子ども保育課
				ご意見を今後の事業の参考にさせていただきます。	男女共同参画課
				今後近隣市と協力し、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。	商工課



No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
28	5-2(1)②	特定事業主行動計画の推進	男性育児取得率アップに向けてはイクボスを育成することがキーポイントとなる。まずは理解を深める必要があるのでは。予算は限られているかもしれないが、イクボスセミナーや講演により意識向上を図った方がよい。最終的に市としても人材採用競争力向上につながる。	男性職員の子育て目的の休暇等の取得の推進については、特定事業主行動計画「八千代市女性職員の活躍推進プラン」において計画内容として掲げ、取組を進めているところです。職員の子育て支援の関連制度や男性の育児取得職員へのインタビュー等について記載した「子育て支援パンフレット」を配布することにより、育休・特別休暇等を利用した育児のサポートや管理職員・周囲の職員への配慮を促しています。今後は現在の取組とあわせて、イクボスの育成を含めた、職員の意識向上を目的とした研修・セミナー等の実施も検討してまいります。	職員課
				仕事と子育てが両立できるようセミナーや講演により意識向上を図るよう努めていきたい。	教育総務課
29	7-2(1)③	交通安全施設整備の推進	市内、小中学校の登下校時に危険な地点は、まだまだあります。子ども達が、交通事故にあわないように、もっとも道路環境を整えて頂きたいです。	市道における交通安全施設の整備については、関連機関等と連携し、道路環境の安全に努めてまいります。	土木維持課
30	待機児童数の状況	—	待機児童数に関する短期的、中期的な見通しと、市としての対応の考え方をご教示ください。	待機児童については年々増加傾向にあり、改定した当該計画の量の見込みから推計しても、待機児童は増加すると見込んでおります。したがって、引き続き受皿確保を行います。長期的な視点からも既存施設の活用も検討していく必要があると考えております。	子育て支援課
31	教育保育及び地域型保育事業達成状況	—	1～2歳児(3号)の保育需要は今後も増加すると思います。微妙な増減に対応するには、小規模保育事業所の開設は有効かと考えます。	待機児童は1・2歳に集中しており、今後は重点的に0～2歳児を確保することが課題ですが、卒園後の3歳児以降の受皿の問題もあるため、慎重に検討していきたいと考えております。	子育て支援課
32	教育保育及び地域型保育事業達成状況	—	達成状況表について、量の見込み、確保方策、確保数等、用語定義が補足説明なしで理解できるよう注記が必要ではないか。またこの表が示唆する事実をご記載していただきたく必要があるのではないか。目的がよりよい子育て支援施策の方向性議論にあり、専門家だけでなく、最終的に一般委員にも書面で意見照会を求めるのであれば、まずは取り組み及びトレースの内容が正しく理解されるようご配慮ください。できれば、来年以降は別紙による補足等、十分ご留意いただきますようお願いいたします。	いただいたご意見を参考に、わかりやすい報告書の作成に努めてまいります。	子育て支援課

No	事業番号	事業名	内容	回答	回答課
33	地域子ども・子育て支援事業達成状況	—	定量的に未達成の項目もありますが、達成に向けては限られた予算の中で取捨選択が必要かと思えます。優先順位についてはどのようにお考えですか？	「地域子ども・子育て支援事業達成状況」に記載の事業は、それぞれ事業を所管する担当課があり、記載事業の中で優先順位を付け、予算配分を行っているものではなく、各課の方針に基づいて行われております。	子育て支援課
34	地域子ども・子育て支援事業達成状況	—	12について、利用者支援事業の取り組み内容及び成果についてご教示ください	<p>すてつぷ21大和田において子育て支援に関する情報収集・提供をしています。(平成29年度 延件数:103件)</p> <p>そのほか、子ども保育課の窓口においても、子育て家庭等から保育サービスに関する相談などのほか、地域における保育所の各種サービスに関する情報提供をしています。(平成29年度 延件数:1,441件)</p>	子ども保育課
				<p>当課においては、母子保健型として保健師等の専門職が、妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じ、妊娠期から子育て期までを安心して過ごせるよう、関係する機関と連携し切れ目のない支援を実施しました。妊娠届出時には専門職が全数面接を実施し、個々に応じた情報提供やサービス案内を行いました。利用者支援事業として、面接を充実させる目的で作成した情報提供チェックリストにより、届出者と面接者の双方で必要な情報とサービスを確認しながら伝えられるなど充実が図られています。</p> <p>また、その他の利用者支援事業の取り組みとして、妊娠期からの支援台帳の整備や特に支援が必要な家庭に対する支援プラン作成等の実施により、切れ目のない支援の充実が図られました。</p>	母子保健課

以下のご意見につきましては、個別に市の考え方を示しませんが、今後の事業計画を推進するにあたっての参考とさせていただきます。

その他のご意見				
No	事業番号	事業名	内容	担当課
1	1-4(4)①	不登校・ひきこもり児童への支援	<p>・復帰のための指導援助の第一歩は、不登校・ひきこもりの児童が突然学校に見えたとき、いつでもその児童の机、いすが配置されていることです。掃除の時もきれいに机をふいて、学級担任はみんなが帰った後、ふいていないところはないか、改めて雑巾がけをして「明日、待っているよ」と願いをかけることです。</p> <p>・教室の雰囲気を明るくすることです。ある学校で5年生の時、転校していましたが、そこでも学校に行けず、6年生になって、戻ってきました。子ども達は5年生と変わりません。担任が変わっただけでしたが、その先生が明るい雰囲気に変えていたのです。その子どもは、それから、風邪を引いても学校に行くとは一度も休みませんでした。</p> <p>・先生の言葉遣いに気をつけることです。自分のお気に入りの服で、たまたま学校に寄ったところ「なんだ、そのかっこうは」と担任の先生から言われたことが、それから卒業しても中学の門を叩いたことがありませんでした。</p>	健康福祉課 適応支援センター
2	2-2(2)⑤	病児保育の充実	病気の子どもを預かってくれる所が少ないけれど、せめて3歳くらいまでは子どもと仕事どっちが大事か考え、仕事を休む勇気が必要では。	子ども保育課
3	2-3(1)②	幼稚園・保育園等、小学校との連携	子ども保育課担当の事業実践は、これは、すばらしい事業の実践です。	子ども保育課
4	2-3(1)③	保健・福祉・教育機関の連携	中央図書館の事業内容は、すばらしい。	中央図書館
5	2-4(1)①	学童保育の拡充	これからも定員拡大を目指して待機児童ゼロを実現してください。	子育て支援課
6	4-1(1)⑧	八千代こども親善大使の派遣	小学時代に他国の見聞を広めることは、とてもよいことです。	指導課
7	3-1	母子の健康づくりの推進	私が一番気になっているのは、ちのみごを抱きながらスマホに夢中の親が多いことです。ちのみごが体全体で訴えていることなどいろいろと発達している姿を出していても見逃してしまっている母親のなんと多いこと。3歳児の女の子がホームでかけていて、電車が入ってきてもスマホに夢中な母親に「子どもの手を握って」と叫びましたが、何を言っているのだといわんばかりの顔で、私はにらまれてしまいました。すべて自分が正しい、他人にとやかく言われることは、ナンセンスと素直に謝る母親のなんと少ないことか。	—
8	待機児童の状況	—	労働基準法で3年間の産休が認められている。保育所が無いから仕事が出来ないではなく、子育てを楽しむということを世間にアピールすることも大事。	子ども保育課